

丹波・但馬

目指せ!! 肉牛の「名誉賞」

県畜産共進会に出品

丹波篠山 篠山東雲高10年ぶり選出

生徒ら2年間育てる

丹波篠山市の県立篠山東雲高校で生徒が育てた牛が27日、淡路市の淡路家畜市場で開かれる肉用牛の品評会「県畜産共進会」に出品される。県内の肉牛農家が最高賞の「名誉賞」を目指してしのぎを削る大会で、肉牛の部で1校のみ的高校生枠に、同校として10年ぶりに選ばれた。

出品される牛は2歳6カ月の照丸号。動物の飼育などを学ぶ地



県畜産共進会に出す「照丸号」と飼育を担当した生徒たち。丹波篠山市の県立篠山東雲高校で

域農業科アグリサー

ビス類型の3年生5人が中心となり、体調を確認し、エサの量を調節しながら育ててきた。9月に高校生枠出場を決める審査があり、3校から選ばれた。同校教諭は「体の高さなどを基準とする肥育度が高かった。生徒が日々のエサ管理や体

調チェックを怠らずに続けてきた成果だ」と喜ぶ。

共進会の肉牛の部には60頭以上が出品され、せりも行われる。上位入賞した牛は、世界の有名店で取り扱われるという。3年の

さんは「2年間育ててきたので、別れるのはさみしいが、共進会で上位に入るよう管理を頑張りたい」と話していた。

2022年10月24日

毎日新聞